

2026年度 神奈川工科大学 大学院 工学研究科 学生募集要項



博士前期課程

一般入試



〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030
URL <https://op.kait.jp/admission/postgraduate/>

【お問合せ先】

〈入試課〉 TEL. 046-291-3000
FAX. 046-291-3003
E-mail nys@kait.jp

目 次

目次	1 ページ
建学の理念、教育目的	2 ページ
工学研究科のディグリー・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー	3 ページ
各専攻のアドミッション・ポリシー	4～5 ページ
一般入試	
1. 募集専攻および募集人員	6 ページ
2. 出願資格	6 ページ
3. 入試日程	6～7 ページ
4. 選考方法	7 ページ
5. 試験場・集合時刻	7 ページ
6. 合格発表	7 ページ
7. 試験内容・試験時間	8 ページ
8. 出願の流れ	9 ページ
9. 検定料	10 ページ
10. 出願方法	10 ページ
11. 提出書類	11 ページ
12. 納入金（2025 年度入試実績）	12 ページ
13. 授業料の返還（入学金を除く）について	12 ページ
14. 教育課程表	13～18 ページ
15. 研究指導要目	19～23 ページ

※個人情報について

出願にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施および統計的集計を行うために利用いたします。

【疾病・負傷や身体障がい等による受験上および修学上の事前相談について】

疾病・負傷や身体の障がい等により、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする方は、出願一カ月前までに神奈川工科大学入試課にお問い合わせください。

神奈川工科大学入試課 TEL. 046-291-3000 FAX. 046-291-3003

建学の理念

本学は、広く勉学意欲旺盛な学生を集め、豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性に富んだ技術者を育てて科学技術立国に寄与するとともに、教育・研究を通じて地域社会との連携強化に努める。

教育目的

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための高い能力と倫理観を有する人材の育成を目的とする。

工学研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

以下の知識と能力を培い、かつ、専攻ごとに定められた修了要件を満たす学生に「修士」の学位を授与する。

- (1) 研究者、技術者の職業を担うために必要な専攻分野における基礎的知識・技術や応用的知識・技術を身につけ、それらを体系的に理解しており、かつそれらの知識や技術を問題解決のため活用することができる。
- (2) 幅広い視野や俯瞰力から技術課題を発見したり、技術ニーズを掘り起こしたりすることができる。
- (3) 技術課題を設定し解決法を提案して研究を企画でき、企画した研究を実践することができる。
- (4) 専門知識に基づいて自らの思考や立案の妥当性を理論的に説明し、議論することができ、また、自ら遂行した研究、開発、調査等の成果を英文も含め、文章としてまとめることができる。
- (5) 研究者、技術者として社会の健全な発展に貢献するため高い倫理観に基づいた判断ができる。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、下記の方針に従って教育課程を編成し、実施する。

- (1) 専攻分野における基礎的知識・技術や応用的知識・技術を身につけるとともに、それらを体系的に理解させ、その応用力を育成するために、各種講義や演習を中心とする基礎科目系と応用科目系からなる専攻分野のコースワークを設置する。
- (2) 専門分野にとらわれない幅広い視野や俯瞰力を身に付けるため、研究科の講義による共通基礎科目群を設置する。
- (3) 課題解決能力、実践的能力、プロジェクト企画力、チームワーク力等の社会人等を育成するため、PBL教育を中心とする総合プロジェクトやインターンシップを設置する。
- (4) 課題解決能力、研究企画力、実践能力、自らの思考や立案を理論的に説明して議論できる能力や研究、開発、調査等の成果をまとめ口頭や文章で表現する能力などのコミュニケーション能力を育成するため、企画立案から成果発表までの一連の研究活動を実行する特別研究を設置する。また、高い倫理観を涵養するために特別研究においては倫理教育も行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）】

本研究科では以下のような入学者を求めています。

- (1) 研究者、高度技術者に必要な専門知識や技術を習得したり理論を理解するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- (2) 国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- (3) 論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

機械工学専攻

機械工学専攻では以下のような入学者を求めている。

- ①自然や社会に受け入れられるさまざまな優れた機械製品やシステムの開発や、製造や 保守、またそれらに関連した様々な問題の解決に貢献できる高度な機械技術者・研究者を養成するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用する思考力と、さらにそれを達成する意欲と熱意を有する人。
- ②グローバル化に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見い出せることができ、また機械・電子・情報に関する技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

電気電子工学専攻

電気電子工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①研究者、技術者に必要な電気電子工学分野の専門知識やスキルを理解するために必要な数学、電気回路、電子回路と電磁気学の基礎知識を有し、これら知識を活用できる人。
- ②グローバル社会に対応する基礎力をもつ人。
- ③自ら行動し、電気電子工学の問題発見・解決に喜びを見い出せることができ、研究開発や技術発明を通して社会に貢献する意欲をもち、明確な入学の目的を持つ人。

応用化学・バイオサイエンス専攻

応用化学・バイオサイエンス専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①学士課程終了時において、応用化学、バイオサイエンス分野における化学、生物、栄養の分野に関し、物質・材料工学，環境・健康プロセス工学，生物・細胞工学，食品・栄養工学に代表される科目に対して、必要とされる十分な基礎的知識を有している人。
- ②応用化学・バイオサイエンス分野に関して、基礎的な英語能力を有している人。
- ③学士卒業時において、必要とされる社会人基礎力、倫理観を身につけ、かつ、課題発見・解決能力の基礎となるべき方法論を実践し、今後も自らに課題を課し、意欲的に学習することのできる人。

情報工学専攻

情報工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①情報をベースとする研究者、高度技術者に必要な情報・通信・メディアに関する専門知識や技能を習得したり理論を理解するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- ②情報・通信・メディアに関する国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また情報・通信・メディアに関する技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

ロボット・メカトロニクスシステム専攻

ロボット・メカトロニクスシステム専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①研究者、高度技術者に必要な専門知識や技能を習得したり理論を理解するために必要な力学・電気電子・制御工学・情報処理・福祉工学・人間科学分野における基礎的な知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- ②国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

一 般 入 試

1. 募集専攻および募集人員

(募集人員には学内推薦入試を含む)

専 攻	機械 工学専攻	電気電子 工学専攻	応用化学・バイオ 工学専攻	情報 工学専攻	ロボット・マイクロシ ステム専攻
募集人員	28名	16名	16名	18名	6名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- ①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者。
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに学位を授与される見込みの者。
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者。
- ④専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- ⑤2026年3月31日において学校教育法第83条に定める大学に3年以上(休学期間を除く)在学した者であって、本学研究科において所定の単位を優秀な成績で修得見込みであると認めた者。
- ⑥学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学研究科において、本学研究科の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
- ⑦本学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者。
- ⑧文部科学大臣の指定した者。

注) 出願資格の⑥⑦⑧により出願する方は、次の期間に入試課にお問い合わせください。

連絡先(入試課) : nys@kait.jp

A日程入試 : 6月16日(月)～7月25日(金)、

B日程入試 : 12月1日(月)～1月16日(金)

※受付時間 : 平日(月曜日～金曜日) 9時00分～17時00分

ただし、12月29日(月)～1月5日(月)は休業のため受付いたしません。

3. 入試日程

◆A日程入試

出 願 期 間	2025年8月25日(月)～9月1日(月)〈消印有効〉 持参 : 2025年9月2日(火) 17時00分まで
試 験 日	2025年9月9日(火)
合 格 発 表 日	2025年9月13日(土) *受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2025年9月25日(木)〈消印有効〉 持参 : 2025年9月26日(金) 17時00分まで
延 納 者 手 続 締 切 日	2025年12月18日(木)〈消印有効〉 持参 : 2025年12月19日(金) 17時00分まで

◆B日程入試

出 願 期 間	2026年2月9日（月）～2月16日（月）〈消印有効〉 持参：2026年2月17日（火）17時00分まで
試 験 日	2026年2月24日（火）
合 格 発 表 日	2026年3月3日（火） *受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2026年3月13日（金）〈消印有効〉 持参：2026年3月16日（月）17時00分まで

4. 選考方法

筆記試験（英語※¹、専門科目）、実績評価試験※²、面接（卒業研究に関する口頭試問を含む）および出身大学の調査書（成績証明書）等を総合評価し選考します。

※1：機械工学専攻、応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻の3専攻は英語の試験をTOEICのスコアで評価するため必ず出願時にTOEICのスコアシートを提出してください。他の専攻は筆記試験を行います。出願時にTOEICのスコアシートを提出すればTOEICのスコアを英語の試験に替えることができます。

※2：実績評価試験は電気電子工学専攻、応用化学・バイオサイエンス専攻（B日程入試のみ）および情報工学専攻（B日程入試のみ）で実施します。

5. 試験場・集合時刻

試 験 場：神奈川工科大学（神奈川県厚木市下荻野1030）

集合時刻：受験票に記載します。

試 験 室：受験票と一緒に送付する試験案内にて連絡します。

※試験日の前日になっても受験票が届かない場合は神奈川工科大学入試課に連絡ください。
TEL. 046-291-3000

6. 合格発表

受験者全員に選考結果を郵送で通知します。

A日程入試：2025年9月13日（土）

B日程入試：2026年3月 3日（火）

※学内での掲示やインターネットによる発表および電話等による問い合わせはおこないません。

7. 試験内容

専攻(試験時間)	英語試験(60分間)	専門科目試験(120分間)	面接(約15分間)
機械工学専攻	TOEICのスコア	【出題科目】 機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御工学、電気・電子回路、情報・通信工学の7科目を出題するので、これらの中から4科目を選択し解答する。各科目は小問2題からなる大問1題で構成する。	面接
電気電子工学専攻	筆記試験またはTOEICのスコア	【基礎問題】(電卓使用可) 電気回路、電気数学、電気磁気学、論理回路、アナログ電子回路について大問各1題を出題するので4問を選択解答する。 【発展問題】(電卓使用可) 電気回路、電気数学、電気磁気学、論理回路、アナログ電子回路について大問各1題を出題するので2問を選択解答する。	面接
		【実績評価試験】 実績をプレゼンテーションする。	
応用化学・バイオサイエンス専攻	TOEICのスコア	【基礎問題】(電卓使用可) 一般化学、一般生化学(生物化学含)の範囲で各大問1題(小問数題)を出題し、大問1題を選択し解答する。 【専門問題】(電卓使用可) 食品栄養、食品化学、細胞生物学、生物化学、有機化学、無機化学、環境化学、物理化学より1題ずつ出題するので、これらの中から2題を選択し解答する。	面接
		【実績評価試験】(B日程入試でのみ実施) 実績をプレゼンテーションする。	
情報工学専攻	TOEICのスコア	【出題科目】 情報数学、ソフトウェア概論、電子計算機概論、情報通信概論の4科目を解答する。	面接
		【実績評価試験】(B日程入試でのみ実施) 実績をプレゼンテーションする。	
ロボット・メカトロニクスシステム専攻	筆記試験またはTOEICのスコア	【出題科目】 力学、電気・電子回路の2科目とプログラミングまたは解剖・生理学の1科目の合計3科目を解答する。	面接

- 機械工学専攻、応用化学・バイオサイエンス専攻、情報工学専攻の3専攻は英語の試験をTOEICのスコアで評価するので、出願の際は必ずTOEICのスコアを提出してください。他の電気電子工学専攻、ロボット・メカトロニクスシステム専攻においても、出願時にTOEICのスコアを提出した場合にはTOEICのスコアで英語の試験を評価します。
- 専門科目試験は筆記試験か実績評価試験のどちらか一方を受験します。
- 外国人受験者の場合は、日本語の口頭試問を別途課す場合がある。

8. 出願の流れ

希望する指導教員との面談および提出書類の準備

- ① 本学以外からの志願者は出願前に希望する指導教員と面談を行い、指導内容や研究内容の確認を行うので、必ず指定の期間に入試課までご連絡ください。(詳細はp.11 参照)
- ② 出願に必要な「卒業(見込)証明書」、「調査書(成績証明書)」、「TOEICのスコアシート」等は予め取り寄せておいてください。ただし、「TOEICのスコア」が無くても出願できる専攻があります。詳しくはp.11 を参照してください。



志願票の記入

本学ホームページから志願票をダウンロードし、氏名・出願する専攻等の必要事項を記入してください。本学ホームページ URL : <https://op.kait.jp/admission/postgraduate/>



検定料の支払い

入試課窓口または、銀行窓口での支払いのいずれかの方法により、検定料をお支払いください。



提出書類送付

提出書類を揃え各自で封筒を用意し、指定期日までに簡易書留速達で郵送するか、本学入試課まで持参してください。

※本学へ持参する場合の受付時間は、平日(月曜日～金曜日)9時00分～17時00分までです。



出願完了

提出書類を確認し、不備または不足等がなければ受験票を発送いたします。

注意

- (1) 出願書類に不備・不足等があると受験票を発行できません。提出の際には再度確認してください。
- (2) 試験日の前日になっても受験票が届かない場合は、必ず本学入試課(046-291-3000)へ問い合わせてください。
- (3) 一旦提出した書類は、いかなる場合も返却いたしません。

9. 検定料

●検定料：30,000円（振込手数料は出願者負担）

検定料の支払方法（支払は本学入試課窓口または銀行窓口での支払いとなります）

①本学入試課窓口で支払う場合

本学入試課窓口にて検定料を持参してお支払いください。

※受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分

②銀行の窓口で支払う場合（銀行窓口備付の振込用紙をご利用ください）

次の口座にお振込ください。

振込先銀行		預金種目
みずほ銀行 厚木支店		普通預金
口座番号	受取人口座名	金額
1301975	カナガワコウカダイガク	30,000円
カタカナで名前を記入→	ご依頼人（出願者氏名）	
	*** **	

●検定料の返還について

一旦納入された検定料は原則として返還いたしません。下記の(1)～(3)の事由に該当する場合には、申請により検定料の返還を認める場合があります。なお、検定料送金に係った手数料は返還できません。また、返還に要する送金手数料はご負担いただきます。

(1) 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合。（出願書類提出後の取消しは認めません）

(2) 検定料を誤って納入した場合。（検定料の二重払い等）

(3) 出願不備等により出願が成立しなかった場合。（出願期間後に出願、書類の不備、出願資格無し等）

10. 出願方法

●本学ホームページから志願票をダウンロードし必要事項を記入後、入試課まで郵送（簡易書留・速達）または持参してください。提出期限が過ぎた場合は受付いたしません。

【出願書類提出締切日】

A日程入試：2025年9月 1日（月）〈消印有効〉 持参：2025年9月 2日（火）17:00 まで

B日程入試：2026年2月 16日（月）〈消印有効〉 持参：2026年2月 17日（火）17:00 まで

＜郵送の場合＞

出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、必ず「簡易書留・速達郵便」にて郵送してください。なお、封筒（表面）の左下に「大学院入試出願書類」在中と明記してください。

（送付先）〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学入試課

＜持参の場合＞

出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、本学入試課窓口まで持参してください。

※受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分

ただし、12月29日（月）～1月5日（月）は休業のため受付いたしません。

1 1. 提出書類〔※の提出書類は本学所定の用紙。本学のホームページからダウンロードして下さい〕

提出書類	内 容
① 志願票※	出願する専攻等、必要事項を記入して提出してください。
② 写真	「写真」1枚を志願票に貼付して提出してください。 (縦4cm×横3cm/上半身/脱帽/正面向き/3ヶ月以内に撮影したもの)
③ 卒業(見込)証明書	出身大学により作成されたもの。
④ 調査書	出身大学により作成された成績証明書。(今年度発行のもの)
⑤ TOEICのスコアシート	機械工学専攻、応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻に出願する者は必ずTOEICのスコアシート(コピー可)を提出してください。これ以外の専攻に出願する場合でも、TOEICのスコアシート(コピー可)を提出することにより英語の試験に替えることができます。
⑥ 実績評価試験申込書※	電気電子工学専攻、応用化学・バイオサイエンス専攻(B日程入試のみ)および情報工学専攻(B日程入試のみ)への志願者で実績評価試験を希望する者は提出してください。(但し、専攻の判断により実績評価試験を受験できない場合もあります)
⑦ 検定料振込受領書	入試課窓口で支払う場合 振込み票の「大学提出用」の部分を出して提出してください。 銀行窓口で支払う場合 振込み票の「お客様控え」の写しを提出してください。 ※検定料お支払い後、「大学提出用」または「お客様控え」に収納印が押印されていることを確認してください。収納印が押印されていない場合には検定料振込受領書を無効とします。
⑧ そ の 他	〈本学学部以外からの志願者〉 ○本学以外からの志願者は必ず次の期間中に希望する指導教員を入試課までお知らせください。その後、希望する指導教員と面談いただきます。なお、面談に際し前もって「研究計画書」(様式任意)と「履歴書」(市販のもので構いません)を提出いただきます。 A日程入試: 6月16日(月)～7月25日(金)、 B日程入試: 12月1日(月)～1月16日(金) 〈外国人志願者〉 ○外国人留学生(本学学部在籍者を除く)の方は必ず次の期間中に入試課までご連絡ください。その後、希望する指導教員と面談いただきます。なお、面談に際し前もって「研究計画書」(様式任意)と「履歴書」(市販のもので構いません)を提出いただきます。 A日程入試: 6月16日(月)～7月25日(金) B日程入試: 12月1日(月)～1月16日(金) 〈外国人志願者のみの提出書類〉 ○経費支弁にかかわる書類(詳細については、経費支弁書※の“出願・提出書類作成上の注意”をご確認ください)を提出してください。 ○出願票の学歴欄には、小学校入学から記入してください。 ○出願時に『住民票』か『在留カード』の写しを提出してください。なお、住民票には在留資格、在留期間、在留期間満了日の記載を含み、出願時の3ヶ月以内に発行されたものとします。在留カードの写しは必ず裏面の写し(記載がない場合でも)も提出してください。 ○現在、日本語教育施設(日本語学校、大学別科等)に在籍している方は、その日本語教育施設での「出席・成績証明書」の原本を提出してください。 ○日本語能力検定N2以上の合格者は出願時に合格証明(写し)を提出してください。なお、合格していない方は提出の必要はありません。

【健康診断について】

健康診断書の提出は必要ありません。ただし、入学後に実施する本学の健康診断を必ず受診してください。

12. 納入金（2025年度入試実績）

（単位：円）

		一括納入	分割納入		
		(1年分)	(前期分)	(後期分)	合 計
		入学手続時	入学手続時	2025年10月末	
学費	入学金※ ¹	200,000	200,000	—	200,000
	授業料※ ²	1,000,000	500,000	500,000	1,000,000
大学委託 徴収金	後援会費				
	入会金※ ¹	3,000	3,000	—	3,000
	年会費	15,000	15,000	—	15,000
	同窓会入会金※ ³	20,000	20,000	—	20,000
合 計（初年度納入金額）		1,238,000	738,000	500,000	1,238,000

※1. 本学学部生が学部卒業と同じ年に大学院博士前期課程に進学する場合、入学金200,000円と後援会入会金3,000円が免除されます。

※2. 本学学部にて2018年度以降入学した者は学部入学時に同窓会入会金を支払っているため再度支払う必要はありません。なお、本学学部にて2017年度以前に入学した者は、同窓会入会金を支払いますが、支払いの時期は大学院入学手続時ではなく、学部卒業時にお支払いいただきます。詳しくは合格者に送付する入学手続きの手引きでご確認ください。

注1) 2年次に支払う金額は授業料1,000,000円と後援会年会費15,000円の合計金額です。

注2) 神奈川工科大学では、学債や寄付金をお願いすることはありません。

13. 授業料の返還(入学金を除く)について

本学へ授業料等を支払い入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合には、所定の手続きを取るにより入学金を除いた納入金を返還いたします。授業料返還の手続きについては合格者に送付する「入学手続きの手引き」で確認してください。

1 4 . 教育課程表（記載の内容は変更になる場合があります）

(1) 共通科目

●教育課程表

（必選別：○選択）

分類	授業コード	授業科目	必選別	年次及び単位数				
				1 年次		2 年次		合計
				前	後	前	後	
研究科 共通 科目群	28709	数理科学特論	○	2				2
	28704	物理学特論 A	○		2 (奇数年開講)			2
	28713	物理学特論 B	○		2 (偶数年開講)			2
	28707	化学特論	○		2			2
	28706	サイエンスコミュニケーション	○		2			2
	28705	Technical English	○		2			2
	28710	Communication in English	○	2				2
	28714	IoTと知能情報処理技術特論	○	2				2
	28715	AI演習	○		2			2
	28716	量子コンピュータ概論	○		2			2
	28711	TOEIC（認定科目）	○					2
	28712	特許・知的財産論	○	2				2
合計								24

(2)機械工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28100	機械システム制御	○	2				2
		28110	材料力学特論	○	2				2
		28120	流体力学特論	○	2				2
		28130	熱力学特論	○	2				2
		28150	創造的問題解決法特論Ⅰ	○	2				2
		28151	創造的問題解決法特論Ⅱ	○		2			2
		28152	シミュレーション技法	○	2				2
		28153	エントロピー特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28154	熱機関特論	○		2			2
		28155	ヴィークルダイナミクス特論Ⅰ	○	2				2
	専門応用 科目	28104	ロボット機構学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28102	モード解析	○		2 (奇数年開講)			2
		28142	精密加工学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28116	宇宙機構造機構学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28117	燃烧工学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28114	流体機械特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28156	ヴィークルダイナミクス特論Ⅱ	○		2			2
		28157	ステアリングシステム開発特論	○		2			2
		28158	自動運転要素技術特論	○		2			2
		28159	デジタルファブ리케이션特論	○	2				2
		28160	ワイヤレス技術応用特論	○	2				2
		PBL系科目	28105	総合プロジェクト	◎	2			
	共 通	28198	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28199	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28106	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								56	

(3)電気電子工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業コード	授業科目	必選別	年次及び単位数				
					1年次		2年次		合計
					前	後	前	後	
専門科目群	専門基礎科目	28200	回路解析特論	○	2				2
		28213	計測工学特論	○	2				2
		28234	電子回路特論	○		2			2
		28203	電気電子制御特論	○		2			2
		28204	電気磁気学特論	○	2				2
		28206	家電システム工学	○	2				2
		28221	半導体デバイス工学特論	○		2			2
		28215	C言語による数値計算	○		2			2
	専門応用科目	28290-28291	電気電子工学特別演習	◎	1	1			2
		28222	LSI設計とプロセス技術	○	2 (奇数年開講)				2
		28220	光物性工学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28235	光通信デバイス特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28208	ロボット家電	○	2 (奇数年開講)				2
		28240	照明・音響工学	○		2 (奇数年開講)			2
		28207	ネットワークとHEMS	○	2 (偶数年開講)				2
		28242	移動通信システムとその応用	○		2 (偶数年開講)			2
		28224	データ解析特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28225	信号処理論	○	2 (偶数年開講)				2
	PBL系科目	28210	総合プロジェクト	◎	2				2
	共通	28298	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28299	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28211	長期インターンシップ	□			4		4
合計								50	

(4)応用化学・バイオサイエンス専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				合計
					1 年次		2 年次		
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28311	有機化学特論	○		2			2
		28312	高分子化学特論	○	2				2
		28332	環境化学特論	○	2				2
		28330	生物化学特論	○	2				2
		28323	細胞生物学特論	○	2				2
		28315	食品栄養学特論	○	2				2
		28396	理科特別実験	○	4				4
	専門応用 科目	28318	無機合成化学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28334	環境毒性学	○	2 (偶数年開講)				2
		28341	反応工学特論	○		2			2
		28351	生体応答学	○		2			2
		28319	微生物制御学	○	2				2
		28304	栄養科学特論	○		2			2
		28347	食行動科学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28308	植物細胞工学特論	○		2			2
	PBL系科目	28336	総合プロジェクト	◎	2				2
	共 通	28384	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28385	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28337	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								46	

(5)情報工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合 計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28501	コンピュータアーキテクチャ特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28506	インタラクティブシステム設計特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28507	数値計算処理特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28508	コンピュータ言語特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28516	メディアシステム特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28519	画像映像解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28521	エンタテインメント技術特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28523	画像認識工学特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28530	IoTシステムデザイン特論	○		2			2
		28531	応用音響工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28541	インターネットセキュリティ特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28553	情報モデル論特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28556	知的生産システム工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28560	情報ネットワーク設計特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28565	インタラクションデザイン特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28547	メディア設計特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28548	XR空間デザイン特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28602	知の情報システム	○	2				2
		28605	認知行動科学特論	○	2				2
		28570	応用情報技術 (認定科目)	○					2
	専門応用 科目	28503	ソフトウェア工学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28504	人工生命創発システム特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28510	ネットワークアプリケーション特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28513	コンピュータグラフィックス特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28518	文字認識特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28520	統計的機械学習特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28524	流通情報システム特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28539	移動体通信特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28540	ワイヤレス通信特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28543	セキュリティ応用特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28545	パターン認識・理解特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28558	Web行動解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28564	ソフトコンピューティング特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28566	スポーツ情報科学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28567	コミュニケーションソフトウェア特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28546	ホームネットワーク特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28549	プロシージャルコンテンツ制作	○	2 (偶数年開講)				2
		28618	人間機械共生工学	○	2				2
		28571	高度情報技術 (認定科目)	○					2
		PBL系科目	28526	総合プロジェクト	◎	2			
共 通	28598	特別研究Ⅰ	□			4		4	
	28599	特別研究Ⅱ	◎				4	4	
	28561	長期インターンシップ	□			4		4	
合 計								92	

(6) ロボット・メカトロニクスシステム専攻

●教育課程表

(必選別: ◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合 計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28600	メカトロニクス特論	○	2				2
		28602	知的情報システム	○	2				2
		28603	制御工学特論	○	2				2
		28605	認知行動科学特論	○	2				2
		28607	健康科学特論	○		2			2
		28617	医療機器構成要素論	○		2			2
		28625	生体機能代行装置学特論	○		2			2
		28626	治療支援ロボットシステム論	○		2			2
		28627	生理学特論	○		2			2
		28506	インタラクティブシステム設計特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28519	画像映像解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28531	応用音響工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		専門応用 科目	28611	ヒューマン・マシンインタフェース	○	2			
	28612		インタラクティブコミュニケーション	○	2				2
	28606		生体計測工学	○		2			2
	28620		知能機械設計工学	○		2			2
	28621		インテリジェントセンシング	○		2			2
	28622		健康開発システム	○		2			2
	28623		臨床人間工学特論	○		2			2
	28618		人間機械共生工学	○	2				2
	28624		デジタルシステム	○		2			2
	28628		医療データサイエンス	○	2				2
	PBL系科目	28613	総合プロジェクト	◎	2				2
		28614- 28615	研究・技術開発リテラシー	◎	1	1			2
	共 通	28698	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28699	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28616	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								60	

15. 研究指導要目

(1) 機械工学専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・工学博士 川島 豪	・機械システムのアクティブ制御 ・心地よい揺れに関する研究
教授・博士（工学） 有川 敬輔	・ロボット機構の設計と制御
教授・博士（工学） 渡部 武夫	・構造デザインに関する研究 ・破壊学に関する学際的研究
教授・博士（人間科学） 佐藤 智明 ・博士（工学）	・新しい熱機関システムに関する検討 ・教育利用のための機械システム開発とその評価
教授・博士（工学） 今井健一郎	・難削材料の研削／切削加工の研究 ・バイオミメティクスに基づく技術の研究
教授・博士（工学） 山門 誠	・人間特性に基づく車両諸元最適化の研究 ・自動運転や運転支援の基礎研究
教授・博士（工学） 門田 和雄	・珈琲焙煎機の開発 ・工業高校機械科のカリキュラム開発と教材研究 ・中学校技術科のカリキュラム開発と教材研究 ・STEAM教育に関する実践研究 ・台湾の自造教育に関する調査研究
教授・博士（工学） 菊池 典恭	・コネクテッドカー技術の導入効果の検証 ・LiDAR、カメラ、レーダー等による物体検出技術の研究 ・協調型運転システムの研究 ・測位技術に関する研究 ・車内／機器内ハーネスの無線化に関する研究
教授・博士（工学） 林 直樹	・燃焼現象に関する研究
准教授・博士（工学） 岡崎 昭仁	・電動駆動システム・要素に関する研究 ・内燃機関の高効率化に関する研究

(2)電気電子工学専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学） 板子 一隆 教授・博士（工学） 瑞慶覧 章朝 教授・博士（工学） 高橋 宏	太陽光発電システム、燃料電池発電システム、パワーエレクトロニクス制御に関する研究 高性能電気集塵装置、電磁界を利用した殺菌、水質の浄化に関する研究 視覚と照明に関する研究
教授・博士（工学） 檜原 浩一 教授・博士（情報工学） 工藤 嗣友	進行波型デバイスに関する研究 高温用パワーデバイス素子の低損失化、高速動作、SiC材料を用いた高温、低損失、高速動作のデバイスシミュレーターによる解析に関する研究
教授・博士（工学） 中津原 克己 准教授・博士（工学） 高取 祐介 准教授・博士（工学） 宮田 統馬	光通信ネットワーク用光スイッチ、光波長多重通信用光フィルタに関する研究 高度交通システムのための情報通信システム技術に関する研究 デジタル信号処理の基礎及び応用技術に関する研究
教授・博士（工学） 奥村 万規子 教授・博士（工学） 黄 啓新 教授・博士（工学） 金井 徳兼 教授・博士（医学） 広井 賀子 教授・博士（情報学） 安部 恵一 教授・博士（工学） 三栖 貴行 教授・博士（工学） 杉村 博 准教授・博士（工学） 山崎 洋一	アナログ回路シミュレーション、信号処理アルゴリズム、ホームネットワークに関する研究 センシング技術及び家電への応用やセンサネットワークに関する研究 ホームロボットシステムやスマート家電制御に関する研究 自然電源を利用したセンサ情報の取得と応用、生活関連作業の自動化機器開発、電子デバイスを用いた知覚環境再構成の心理学的効用探究、生態情報のデータドリブンモデリング コンシューマー・エレクトロニクス分野で組込み、計測・制御、ICT応用、環境発電技術に関する研究 照明技術、プラズマ工学に関する研究 情報家電と人工知能の融合技術に関する研究 ロボット技術、ロボット家電に関する研究

(3)応用化学・バイオサイエンス専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学） 清水 秀信 教授・博士（工学） 山口 淳一 教授・博士（薬学） 森川 浩 教授・博士（工学） 村山 美乃 准教授・博士（工学） 和田 理征	・高分子合成 ・高分子材料 ・機能性高分子 ・選択的新規合成法 ・高分子ゲル科学 ・ナノ構造化学 ・無機材料工学
教授・博士（工学） 飯田 泰広 教授・博士（理学） 小池 あゆみ 教授・博士（農学） 岩本 嗣 教授・理学博士 村田 隆 教授・博士（理学） 井上 英樹 准教授・博士（材料科学） 山村 晃 准教授・博士（農学） 小澤 秀夫 准教授・博士（医学） 山下 直也 准教授・博士（理学） 柴田 大輔	・酵素工学 ・天然物化学 ・遺伝子工学 ・機能生物科学 ・構造生物学 ・生体応答学 ・植物細胞工学 ・生物化学計測 ・バイオイメージング ・神経科学 ・繁殖生態学
教授・博士（工学） 市村 重俊 教授・工学博士 齋藤 貴 教授・博士（理学） 高村 岳樹 教授・Ph.D. 仲亀 誠司 准教授・博士（工学） 大庭 武泰	・環境化学 ・環境毒性学 ・環境保全学 ・膜分離工学 ・バイオプロセス ・環境汚染物質の毒性評価と環境動態 ・物質移動 ・異相系の流動 ・拡散分離装置 ・反応操作 ・化学システム構築
特任教授・医学博士 饗場 直美 教授・博士（学術） 清瀬 千佳子 教授・博士（工学） 澤井 淳 教授・博士（栄養学） 花井 美保 教授・博士（学術） 大澤 絢子 准教授・博士（医学） 澤井 明香 准教授・博士（医学） 宮本 理人	・食機能と健康影響評価 ・栄養生化学 ・微生物制御学 ・食品成分の生成と代謝消長、食品分析法と評価 ・給食経営管理 ・臨床栄養学、栄養評価 ・特殊環境栄養学、多量元素・微量元素栄養学

(4)情報工学専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（理学） 松本 一教	認知、認識などの人間系も含めた情報モデリング研究
教授・博士（工学） 陳 幸生	クラウド／モバイル環境における情報処理に関する研究
教授・博士（理学） 佐藤 尚	コンピュータアニメーションおよびNPRに関する研究
教授・博士（工学） 田中 博	ユビキタスシステムデザインとその実証に関する研究
教授・博士（工学） 木村 誠聡	デジタル信号処理およびハードウェア化に関する研究
教授・博士（工学） 納富 一宏	インタラクティブシステム設計とその応用に関する研究
教授・博士（工学） 服部 元史	3 DCGゲーム開発のための基盤理論とシステム設計
教授・博士（情報科学） 田中 哲雄	情報システムの連携技術に関する研究
教授・博士（工学） 辻 裕之	数値モデルに基づく画像処理アルゴリズムに関する研究
教授・博士（工学） 塩川 茂樹	無線マルチホップネットワークの設計と応用に関する研究
教授・博士（情報科学） 五百蔵重典	プログラミング言語の実装に関する研究
教授・博士（情報科学） 清原 良三	モバイルコンピューティングと高度交通システムに関する研究
教授・博士（政策・メディア） 稲葉 達也	情報技術を活用した業務プロセスの価値定量化に関する研究
教授・博士（工学） 鳥井 秀幸	移動体通信における多元接続方式に関する研究
教授・博士（工学） 白杵 潤	物と情報の流れ解析によるシステム把握とユーザ支援法の研究
教授・博士（工学） 宮崎 剛	画像の処理や認識とそれらの工学的応用に関する研究
教授・博士（工学） 西村 広光	画像認識とその応用に関する研究
教授・博士（体育科学） 谷代 一哉	情報技術を用いたスポーツの競技力向上に関する研究
教授・博士（政策・メディア） 鷹野 孝典	ユーザ指向の検索エンジンの設計と評価に関する研究
教授・博士（国際情報通信学） 岡本 学	情報セキュリティとその実証・応用に関する研究
教授・博士（工学） 岡本 剛	脆弱性攻撃の対策技術に関する研究
教授・博士（工学） 森 稔	画像・映像の認識・理解およびその応用に関する研究
教授・博士（工学） 春日 秀雄	画像・映像の認識と評価に関する研究
教授・博士（工学） 大塚 真吾	Web空間におけるユーザの行動解析に関する研究
教授・博士（情報科学） 酒井 雅裕	エンタテインメント技術と応用に関する研究
教授・博士（工学） 鈴木 浩	インタラクションデザインに関する研究
教授・博士（政策・メディア） 川喜田佑介	IoTシステム設計とその応用に関する研究
教授・博士（工学） 渡部 智樹	ホームネットワークを主とした情報機器とその応用に関する研究
准教授・博士（工学） 凌 暁萍	分散環境における情報処理と情報サービスに関する研究
准教授・博士（工学） 井家 敦	情報通信ネットワークにおける性能評価に関する研究
准教授・博士（工学） 須藤 康裕	数値モデル化と最適化に関する研究
准教授・博士（工学） 岩田 一	情報サービスのユーザビリティと情報教育に関する研究
准教授・博士（工学） 上田 麻理	音声・聴覚情報を含む音響工学とその応用に関する研究
准教授・博士（工学） 北本英里子	XR技術を活用した建築・都市・空間デザインに関する研究
准教授・博士（芸術工学） プランセ マイケル	ゲームデザインユーザビリティとUXに関する研究

(5)ロボット・メカトロニクスシステム専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学） 兵頭 和人	マルチエージェント・ロボット・システムの開発
教授・博士（工学） 河原崎徳之	ヒューマン・ロボット・インタラクションに関する研究
教授・博士（学術） 高橋 勝美	高齢者の日常生活動作・自立体力の評価システムに関する研究
教授・博士（工学） 高橋 良彦	人間支援ロボットシステムの開発研究
教授・博士（環境学） 松田 康広	コミュニケーション支援システムの開発
教授・博士（医学） 鈴木 聡	医療における人間工学と人工臓器システムに関する研究
教授・博士（工学） 吉野 和芳	視覚障がい者のための情報機器操作支援の研究
教授・博士（学術） 渡邊 紳一	人の健康維持・増進に関する科学研究
教授・博士（人間科学） 高尾 秀伸	視覚障がい者用聴覚ナビゲーションシステムの開発
教授・博士（工学） 河口 進一	計算機システムにおける電源制御に関する研究
教授・博士（工学） 吉満 俊拓	防災・災害救助システムの開発
特任教授・医学博士 馬嶋 正隆	病態解析と新規治療法開発に関する研究
教授・博士（情報理工学） 金 大永	医療支援ロボットシステムに関する研究
准教授・博士（工学） 吉留 忠史	インタラクティブロボットの開発
准教授・博士（情報科学） 大瀧 保明	身体動作における計測・制御・力学に関する研究
准教授・博士（工学） 三枝 亮	医療介護を支援するロボット・インターフェースの研究
准教授・博士（工学） 川崎 路浩	医療（臨床）情報と機械学習を使った研究と開発
准教授・博士（医療科学） 西村 宗修	体位変換時の循環動態と血圧調節に関する研究